

## 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) を理解するための映画と交流のつどい

日時 11月3日(日) 14:00~16:00  
会場 東久留米市・成美教育文化会館 大研修室  
西武池袋線「東久留米」駅 北口から徒歩5分  
どなたでも歓迎 入場無料

### 映画鑑賞 「闇からの声なき声」 (63分 イギリス作品)

闇に葬られようとしていた重症患者の声を拾いあげた衝撃のドキュメンタリー  
製作 ナタリー・プルトン&ジョシュ・ビックス

「闇からの声なき声」は、2011年にイギリスで重症患者のご家族によって製作され、8ヶ国語に翻訳されています。この映画は、イギリスの医療制度や福祉制度が患者とその家族に負わせた悲劇を描いたドキュメンタリー映画であり、同時に世界的権威の3人の専門医によって、この病気の最新の情報が提供されています。この病気の歴史的背景やどういう病気であるのか、無理解や偏見に苦しんできたにも関わらず、今まで闇に葬られようとしてきた重症患者の苦しみや、治療の困難さなどを理解できる優れたドキュメンタリー映画です。

英語の正式なウェブサイトはこちらをご覧ください。 <http://voicesfromtheshadowsfilm.co.uk/>

### トークと交流

この病気は対応が難しいですが、日々の生活環境を整えることによって、体調を安定させることができます。ME/CFSの診療に携わっている申先生より、どうやって診断されるのか、症状を和らげるための治療法、生活上の注意などをお話し頂きます。

#### 申 偉秀 (しん いす)

練馬区の関町内科クリニック院長であり、NPO法人「筋痛性脳脊髄炎の会」理事。2010年夏に篠原と出会い、この病気を知る。その後精力的にこの病気の正しい認知を広めるために活動。一年ほど前からME/CFS患者の診療にも従事。国際ME/CFS学会やアメリカ・カナダの全ての患者団体が推奨するカナダの診断基準をはじめとする翻訳を医学監修。



#### 篠原 三恵子 (しのはら みえこ) ~日々の生活から~

アメリカに留学していた1990年に筋痛性脳脊髄炎を発症。2010年2月に「慢性疲労症候群をとともに考える会」を発足。2012年6月よりNPO法人「筋痛性脳脊髄炎の会」理事長。

主催:NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会(旧「慢性疲労症候群をとともに考える会」)

後援:NPO法人日本障害者協議会(JD)・東京保険医協会

問合せ:〒177-0033 練馬区高野台3-11-12 采明ビル2B アニメ活動センター内

電話:080-4082-6287 FAX:03-6915-9282 Email:cfsnon@gmail.com

\*この講演会は東久留米市難病等啓発事業補助金を受けています。

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群は、中枢神経及び免疫システムの深刻な調節障害、細胞のエネルギー代謝及びイオン輸送の機能障害、心臓血管系の異常を伴う複雑な疾患。有効な治療法はなく、子供でも発症し、寝たきりに近い患者も多く、日本では30万人の患者がいると推定。患者のADLの低下は深刻で就労困難となる患者が多く、その社会的・経済的損失は計り知れない。